



ロベルト酒井の

南十字の空から

ブラジル通信 No. 2 1

平成 26 年 10 月 3 日～10 月 6 日

(平成 26 年度 第 6 号)

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一



再会した先生方

豊橋市内の小中学校で研修した先生方と再会

平成 19 年度からパラナヴァイ市を中心に、ブラジルの教員及び教育局関係者が、5 か月間豊橋市内の小中学校で研修を受けています。現在パラナヴァイ市に在住する研修経験者の先生は 5 名。最初に研修を受けたクリスライネ先生は、私に会うと「サカイ センセイ」と日本語で呼びかけてくれ、懐かしさとともにうれしく思いました。今回、エリアーネ先生に再会できませんでしたが、前任の校長が辞職するため、急

きょ校長になるそうで、引継ぎのため欠席でした。豊橋の研修を経験した先生が校長になるということは、豊橋との教育交流や帰国児童への理解がますます広がっていくと期待できます。近日中にエリアーネ先生の学校に訪問するので、本通信で紹介します。

今回の再会では、今年の「パラナヴァイ帰国者の会」の総括と今後の運営について話し合いました。その内容は以下のとおりです。



先生方と協議

計画

- ・ 偶数月の第 3 木曜 19:30 開催
- ・ 場所：日系人会の施設
- ・ 各回、豊橋の研修経験教員が順番で担当

現状

- ・ 2 月、4 月は実施
- ・ 6 月より未実施
- ・ 時間が遅い
- ・ 家庭の負担(送迎)

改善案

- ・ 開催時間を 14:00 にする
- ・ 送迎は教育局のスクールバス
- ・ 担当教員は出張扱い
- ・ 参加児童生徒は授業を免除

ロベルト酒井の「ブラジル行ってみたらホントはこんなトコだった!？」①

某テレビ番組をマネしているようであり、一面の教育報告とは関係ないように思われるかもしれませんが、今年は「子どもを取り巻く『社会環境』の紹介」という、こじつけの理由で本コーナーを不定期で掲載します。

ブラジルの選挙活動

今年は 4 年に 1 回のブラジル総選挙の年です。日本より盛り上がる選挙！大統領、国会議員、州知事、州議会議員それぞれの選挙が行われ、10 月 5 日に投開票が行われました。



候補者のポスターを車に貼り、アピール活動



デモ行進のように、集団で道路を歩き、候補者を応援

ブラジルの選挙制度

選挙権	18歳以上
投票時間	8:00～17:00（期日前投票はない）
投票所	学校の教室
投票率	90%以上 投票しなかった人は、5レアル(約250円)を支払い、投票しなかった理由を文書で提出
投票方法	候補者番号を入力(大統領と州知事は2桁) 大統領と州知事は、1位が過半数を取らなかった場合、1位と2位で決選投票(二次選挙) <u>*今年の大統領選挙は二次選挙を実施</u>
その他	投票時間内は酒類の販売禁止



候補者番号のポスター



投票のため、教室の前で並ぶ人々



入力(投票)する教室と立会人



入力(投票)する場所



入力(投票)する機械

ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号は「ブラジルの文化・習慣を尊重して行動しているとはいえ、日本人としてのアイデンティティを大切にするために行っている『ある行動』とは何でしょう?」という問題でしたが、答えは「② ゴミをポケットに入れる」です。昨年のある日のこと、ブラジル人の方から飴をいただきました。彼は飴を口に入れると、包み紙をポイ捨てしました。私はゴミ箱が近くにないので、自然なしぐさで包み紙をポケットに入れました。すると彼が、「日本は道路にゴミが落ちていない『きれいな国』と聞いたが、あなたのゴミを持ち帰る行動を見て納得した。」と言いました。さらに彼が私の行動に驚いたのか、別の日に友人の前で、あえて私に飴を渡しました。私が包み紙をポケットに入れようとする、「おい見ろ!日本人は本当にゴミを捨てないだろ!」と友人に言っていました。何か見せ物になったような気がしましたが、日本人としての当たり前の行動がブラジル社会をよくするならと思い、今でもブラジル人の前で恥ずかしくがらずゴミを持ち帰っています。

それでは第21問。私は、訪問先の校長先生やお世話になった方々にお土産を渡しています。今年は2回目の訪問ということで、昨年とは違うお土産を用意しました。そこで問題です。特にお世話になった方々のために、どんなお土産を用意したでしょう?

- ① 豊橋市立家政高等専修学校の先生方による着物の端切れで作った小物入れ
- ② 豊橋筆組合からいただいた「ワケあり」高級筆
- ③ 豊橋手筒花火協会からいただいた「ワケあり」手筒

答えは次号で!